とうごう 議会だより

わたしたちの夏がはじまる

2019年（令和元年） 第132号

8月1日発行

ページ

■東郷町議会“解体新書” 2

■一般質問「町政を問う」 3

■平和都市宣言可決 10

■議会基本条例を制定 13

■委員会レポート 14

発行 東郷町議会 編集 広報広聴委員会 〒470-0198 愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地 電話 0561-56-0754

東郷町議会 “解体新書” 本会議場マップ

東郷町議会定例会の流れ

各議員が個別で準備

事前通告

一般質問

議員は30分以内で提出議案以外の町政や、町施策について町長等に問いただします。

本会議

議案上程・説明 — 町長等が議案を提案し、説明します。

議案質疑 — 議案に対する疑義を問いただします。

委員会

議案審査・採決 — 議案について町関係課等に細かい説明や質疑を求め、意見を交わし審査・採決します。

委員長報告 — 各委員会の審査結果について報告します。

本会議

質疑・討論 — 委員長報告の後、賛成 / 反対の討論を行います。

採決 — 議案などについて賛成か反対かを決めます。

閉会 — 可決された議案のうち、予算や事業等は町長が執行し、意見書は国や県等に送付され、その実現を求めます。

議会こぼれ話

議員の席は、新人から期数（当選回数）順に座ることが通例で、基本的には任期中変わりません。議席番号９番、10番の席は質問席の真後ろに位置し、質問者の記録画面に映り込むことから、終始気が抜けない席となっています。もちろん他の議員が気を抜いているという訳ではありません…。

議会は、いつも開かれているわけではありません。定期または臨時に一定の期間だけ開かれます。定期的に開かれる会議を定例会、必要に応じて開かれる会議を臨時会といいます。本町の定例会は年４回（３月、６月、９月、12月）と決められています。議会の閉会中も委員会が開かれ、各方面の関係者との話し合いや調査を行う等、町民の要望を町政に反映させるため、日々活動しています。

一般質問

町政を問う

今回は、先の統一地方選で選ばれた議員のうち、新人3名を含む12名が、質問に立ちました。
選挙戦で訴えた施策の他に、多岐にわたる質問が並びました。

山田　達郎	●議員定数
	●ふるさと納税と法人による寄付
	●公共施設における自動販売機
	※（仮称）ららぽーと愛知東郷町対策
菱川　和英	●セントラル開発関連
	●バスターミナル
	●公共交通
加藤　達雄	●交通安全
加藤　宏明	●「スーパーシティ」構想
	●東郷町のセントラル地区を「スーパーシティ」公募先の選定準備
	※選挙状況
高木　佳子	●東郷町の防災・減災
近藤　鑛治	※愛知池周辺の環境整備
	●小・中学校の部活動の取組み
中野まさひろ	●投票率向上策
	●主権者教育
	●総合計画及び各個別計画における住民参加
	●放課後児童クラブの長期休暇中及び学校振替休業日における利用可能時間の変更
石橋　直季	※幼保無償化
	※プレミアム付き商品券
	●公衆無線ＬＡＮ
	●災害時の情報共有
門原　武志	●東郷町社会福祉協議会のあり方
	●障害福祉サービス利用者の介護保険サービスへの移行
	●地域猫
	※町内の美化・環境保全
	※性の多様性
山下　　茂	●認知症予防対策
	●学童保育
國府田さとみ	●「安全・安心でおいしい給食」への具体的な取り組み
	●お金がかからない学校づくり
	●放課後児童クラブの運営
若園ひでこ	※巡回バス（じゅんかい君）の国旗掲揚
	●巡回バス（じゅんかい君）の運行の広域化
	※町内の車の抜け道対策

※は通告項目ですが記事にありません。尚、一般質問の全容は議会ウェブページの録画映像配信・東郷町議会会議録にてご覧いただけます。

Q：ふるさと納税の実態を伺う
A：納税額417万円、流出額1億4,000万円

山田　達郎 議員

【問】東郷町の30年度のふるさと納税収入額は。

【総務部長】417万円。

【問】流出額はいくらか。

【総務部長】1億4000万円。

【問】ふるさと納税で有名な大阪府泉佐野市の収入額はいくらか。

【総務部長】29年度は135億円。

議員定数について

【問】近隣の市は議員1名につき何名になるか。

【総務部長】日進4549名、みよし3058名、豊明3441名、東郷2740名。

公共施設における自動販売機について

【問】自動販売機の利益は年間で450万円程あるが町民へ返還してほしい。特に町民から多く寄せられる火葬代が高すぎる。名古屋市民は5000円だが町民は7万円。補助金の財源にしてはいかがか。町長はお金持ちなので気にしないと思うが年金で暮らす方々からの悲痛な願いである。

【町長】私の両親はすでに亡くなっているが悲しみで火葬代の事など考えたことはない。

利益が大きい自動販売機も委託

Q：町の現状で、免許証の返納を推奨できるか
A：公共交通の役割は重要、本町の課題と認識

菱川　和英 議員

【問】巡回バスの目的は住民の移動の利便のためではなかったか。

【副町長(企画扱)】交通が不便な地区の公共施設や通院、買い物等、交流の活性化が目的。今後はじゅんかい君の再編、デマンド交通、タクシーチケット助成と連携して検討していく。

【問】じゅんかい君を赤池駅に乗り入れの要望は非常に多い。難しいと言っているが、どこに問題があるか。

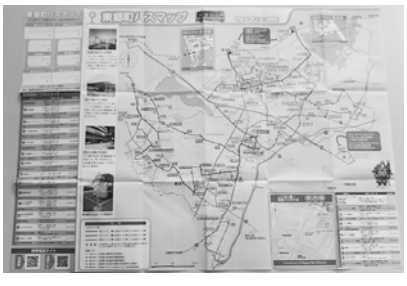
【副町長(企画扱)】町民の皆様の利便性を考えたルートをじゅんかい君の再編案で検討中。地域公共交通会議にお諮りしたい。

【問】バスターミナルは都市計画決定されていたのか。

【都市建設部長】平成29年7月19日に都市計画決定した。

【問】セントラル開発の都市計画決定と時期がずれている。町の将来計画は都市計画マスタープランを作成して都市計画決定するのが本意でないか。

【町長】今後はすべての部署と連携を取り、情報の共有をして計画的な町づくりをする。



じゅんかい君路線図

Q：通学路主要交差点の安全見直しが必要では
A：園児の散歩コース、通学路の安全再確認を実施

加藤　達雄 議員

【問】今年度、更に深化した交通安全施策を、どのように進めるのか。

【総務部長】第4次東郷町交通安全計画の通り、道路整備、交通安全思想の普及徹底、運転者教育の充実を図る。

【問】諸輪交差点北西角溜まり場にガードレールはないが設置可能か。また町内通学路の主要交差点で当件に特化した安全点検が必要では。

【都市建設部長】当所は生活車両が通る町道が取付き、設置困難の経緯もあるが昨今の事故を鑑み、対策可能な手法を、県道路管理者と協議して進めたい。

【教育部長】通学路の安全点検は、毎年全校で実施している。大津市の事故を受け、直ちに全校長宛に通学路全体の安全について再度確認した。

【問】町内各保育園の散歩コースの安全再点検は、どうやられたか。

【こども健康部長】散歩は事前に保育士がコースの安全確認実施後に行う。各園の再点検で出された注意箇所は、担当職員が現場確認の上、対策案を決め、関係機関と連携し進めたい。

安全柵のない溜り場

Q：国の「スーパーシティ構想」に公募準備せよ
A：国の情報内容が少なく本町の見解が出せない

加藤　宏明 議員

【問】国はAI及びビッグデータを活用した最先端都市を政府の国家戦略特区制度を利用して地域限定で実現させる取り組みを進めている。現にGAFAやBATHと呼ばれるIT企業の「プラットフォーマー」が世界を席巻し牛耳っている。日本でも2030年迄に、車は自動走行車、支払いはキャシュレス、宅配はドローン、教育は遠隔教育、医療は遠隔医療、行政手続きもネットで行えるなどの取り組みを実証実験するエリアを公募しようとしている。

　本町のセントラル地区は、国が進める「スーパーシティ構想」に適応したエリアである。世界企業のトヨタ自動車も近くにあり、CASE、Maasの実証も可能であり「セントラル地区」を「スーパーシティ構想」候補地に公募すべきと考えるが見解を。

【都市建設部長】スーパーシティ構想は国においての検討が進んではいるが、実施するための要件や国の支援内容や費用負担の考え方などの情報が少ないため本町の見解が出せない。

「スーパーシティ構想」に向けて　セントラル地区

Q：防災手帳の必要性について問う
A：急を要しない。実施状況を見ながら研究

高木　佳子 議員

【問】防災マップの作成全戸配布同様、防災手帳の作成、活用は。

【総務部長】現在、全戸配布の防災マップには地震に対する心構え、避難先、緊急連絡先が掲載されている。また自身の情報、家族の情報も書き込めるようになっている。防災手帳も同様の内容のため作成・配布の必要性に急を要しない。

女性防災クラブの在り方と減災について

【問】女性防災クラブ発足の目的は。

【総務部長】一般家庭からの火災を防ぐ。また家庭・地域を愛する心を高め、町の防災に繋げる。

【問】女性防災クラブの現状と取組みは。

【総務部長】平成31年4月現在、10支部162名で構成され救急救命講習や出初式等の活動に参加。

【問】減災の取組みは。

【総務部長】町として感震ブレーカー設置を推進している。これを設置する事で地震発生後の通電火災を防ぐ役割がある。

水防訓練炊き出しの様子

Q：本町の中学校生徒の部活動への参加率は
A：文化部・運動部を合わせ 87.5％と活発に活動

近藤　鑛治 議員

【問】学校教育の中で部活動の位置づけ役割は。

【教育長】学校教育の一環であり、心身の健全育成、学習意欲の向上、良好な人間関係の形成、個性・能力を伸ばし、責任感・連帯感を養い育てる部活の取組みをする。

【問】小・中学校の部活動の種目について伺う。

【教育部長】小学校は、全校にサッカー、バスケットボール、金管バンドの3種目、春木台小は園芸部もある。中学校は東郷中10種目、春木中13種目、諸輪中6種目である。

【問】競技志向・楽しみ志向の部員もいるが、その対応について伺う。

【教育部長】勝利を重視した過重な練習することなく、発達段階に応じて、合理的かつ効果的な指導に努めている。

【問】外部指導者の役割と位置づけは。

【教育部長】コーチとして技術面の指導とフォローをお願いしている。

【問】本町の部活の参加状況について伺う。

【教育部長】自由参加だが、文化部19.4％、運動部68.1％、合わせて87.5％の生徒が活発に活動し、役割を充分達成している。

小学校での部活動の活動風景

Q：本物の議会で「子ども議会」開催の考えは
A：大変意義のある事業であり、年度内に開催

中野　まさひろ 議員

【問】子どもが実際の議会で議論し、まちづくりに主体的にかかわる経験を通じて、子どもに主権者としての自覚を促す「子ども議会」に取り組む考えは。

【町長】「子ども議会」は、議会・行政のしくみを理解し、まちづくりに興味を持つことが期待できる大変意義のある事業。年度内に開催する。

長期休暇中の放課後児童クラブ利用時間延長

【問】利用開始時間を保育園と同じ7時30分からに変更すべきと思うがどうか。

【子ども健康部長】人材確保が大変難しいが、利用者への意向調査の結果や就労支援の観点から利用開始時間の見直しについて研究する。

総合計画への住民参加

【問】無作為抽出の住民による討論型世論調査の方法は、採用事例も多く大変有用である。

【副町長(企画扱)】計画策定に参加経験がない潜在層の掘り起こしに効果がある。広く町民の皆様が参画しやすい手法について検討する。

東郷町議会　本会議場

Q：無料公衆無線ＬＡＮの導入について考えは
A：他部署との横断的な連携により研究を進める

石橋　直季 議員

【問】誰しもがモバイル端末を使える環境を、まずは本町役場から実現すべき。町内の公共施設で無料Ｗｉ－Ｆｉが使える所はあるか。

【副町長(企画扱)】ない。

【問】その状況をどう捉えているか。

【副町長(企画扱)】国は、地方公共団体の公衆無線LAN整備を推進している。本町としても、住民の利便性向上に有用なインフラと認識している。

災害時の情報共有

【問】昨年の台風21号接近時、町公式Ｔｗｉｔｔｅｒ「トッピィのつぶやき」により、防災対策として初めてSMSの運用がなされた。ただ、もう少しこまめな発信を期待する声があったが、できないか。

【副町長(企画扱)】効果的な情報発信の体制を引き続き研究する。

【問】緊急時専用Ｔｗｉｔｔｅｒ、ＬＩＮＥの導入はいかがか。

【副町長(企画扱)】先端テクノロジーの活用については、運用形態を含め、調査研究していく。

※ほか、「幼保無償化」「プレミアム付き商品券」についても質問しました。

Wi-Fi 環境整備は、
防災対策としても必須

Q：老朽化が進む福祉センターの修繕の財源は
A：町の財政支援も含め社協と協議したい

門原　武志 議員

【問】社会福祉協議会（社協）が高齢者デイサービスを9月までにやめる理由は。

【福祉部長】町内にデイサービスを行う事業者が多く社協が行う意義が薄れたこと、浴室のボイラーの老朽化、毎年400万円の赤字が理由。

【問】福祉センターの修繕のための財源は。

【福祉部長】町が無償貸与し、通常の維持管理は社協が行うが、大規模な修繕は社協にとって負担になるので、町の財政支援も含め、社協と協議したい。

65歳以上の人への福祉サービス

【問】福祉サービス利用者が65歳になり介護保険の対象になったときに不利益がないようにすべきだが町の考えは。

【福祉部長】利用者の心身の状況により判断する。介護保険サービス利用料を償還する制度もあるので説明する。

猫の不妊手術への助成

【問】助成への考えは。

【経済環境部長】飼い主の責任で手術すべきだが、飼い主がいない猫は難しいので研究する。

福祉センターの老朽箇所（1階廊下）

Q：認知症戦略である新オレンジプランについて
A：第8期高齢者福祉計画立案の中で拡充目指す

山下　茂 議員

【問】新オレンジプランの進捗展開について。

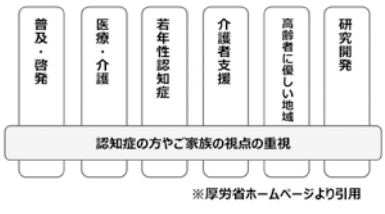
【福祉部長】昨年開催した認知症サポーター養成講座には191名が参加し、出前講座は老人クラブや小学校等で10回開催した。参加者からは、認知症や高齢者への印象が変わり理解が深まったとの好意的意見が多かった。

【問】初期集中支援チームなどの活動状況は。

【福祉部長】本町内には認知症専門医がおらず町外の専門医や、医療機関との連携が今後の課題と捉えている。

【問】今後の方向性は。

【福祉部長】第7期高齢者福祉計画を基に第8期を検討する中で拡充を図っていきたい。



新オレンジプランの7つの柱

子育て支援について

【問】放課後児童クラブの待機児童の現状は。

【こども健康部長】現在7名の待機児童がおり空き状況を確認しつつ速やかに解消したい。

【問】学童保育に準ずる支援対策としてファミサポ援助会員拡充を図る考えはないか。

【こども健康部長】広報誌やチラシ配布等で事業の周知に努め、会員の拡大を目指したい。

Q：小麦の問題に対する給食の安心・安全担保は
A：小麦に替わる米粉の積極的な活用を検討

國府田　さとみ 議員

【問】地産地消としての米粉の特産品開発と給食への取り組みは。

【教育部長】いくつかの企業等と打ち合わせを行っている。価格調整は必要だが給食に取り入れていきたい。

【問】小麦アレルギーへの対応は。

【教育部長】米粉の代替加工品を取り入れていく。加えてアレルギー対応委員会の設置準備を進めている。

お金がかからない学校づくりについて

【問】補助教材や学用品など保護者負担の公費・軽減化に向けた工夫は。

【教育部長】担当学年の教員同士で話し合い、費用対効果の検証を行っている。また、平成30年12月校長会で保護者負担軽減を図るよう依頼している。その他に今後も研究していく。

放課後児童クラブの運営について

【問】放課後児童クラブと放課後子ども教室の行政所管一元化によるメリットをどう双方の運営に活かしていくか。

【こども健康部長】一体型による両事業の実施に向けて研究を始めた。

あいちの米粉パン
※公益財団法人愛知県学校給食会 HP より引用

Q：巡回バス事業の広域化の考えは
A：バス等の広域連携を検討中

若園　ひでこ 議員

【問】検討の内容はどのようなものか。

【副町長(企画扱)】令和2年度秋にセントラル開発エリア内にバスターミナルが完成する予定。当該時期を目標に広域運行を路線バスか、コミュニティバスか。それ以外の手段も含め、検討をしている。

【問】平成29年度に東郷町・豊明市・日進市・みよし市・長久手市の5市町で設置した尾三地区広域公共交通推進協議会の今日までの取組みはどのようなものがあるのか。

【副町長(企画扱)】平成30年度に各市町が標準的なバス情報であるGTFS形式によるオープンデータ化の導入により、広域でのコミュニティバスの乗り継ぎ情報をグーグルマップで検索することが可能になった。広域公共交通網を整備し尾三地区全体の地域価値を向上させるものである。

【問】各自治体が一緒に行う組合的な事業の広域化の考えは、尾三地区広域交通公共推進協議会で話題に出ていないか。

【副町長(企画扱)】出ていない。

各自治体一体化事業の視野も
必要な公共バス

東郷町
平和都市宣言
可決

「令和」という新しい時代がはじまる年を機に提案された「東郷町平和都市宣言」が、全会一致で可決されました。

東郷町平和都市宣言について

（全員賛成で可決）

次世代に平和の大切さを継承し、恒久平和の実現に向けて努力する意思表示を内外に向けて行うための平和宣言。

宣言に基づいた啓発活動や平和教育など、その行動を明確にして実行して頂くことを期待し賛成する。

（高木佳子　議員）

核兵器廃絶を願う広島・長崎の被爆者の高齢化が進んでいる。一刻も早く宣言を。宣言実現へ平和運動に携わってきた人々に敬意を

賛成討論

表題に「非核」の文字がないことは残念だが、経済や貿易を含めた大国間の緊張が高まる中での宣言は意義深い。宣言の精神に則った啓発や平和教育等の行動に、町を挙げて旺盛に発想豊かに取り組むことを求め、賛成する。

（中野まさひろ　議員）

東郷町平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

しかし、世界各地では、今もなお、戦争や武力紛争、テロ行為、核兵器の保有などにより、人々の尊い命と平和な暮らしが脅かされています。

世界で唯一の核兵器による被爆国として、二度とあの悲惨な戦争の歴史を繰り返すことのないよう、わたしたちは、平和の大切さを、未来を担う世代に継承していく責任があります。

昭和から平成、そして、令和へと時代が移りゆく今、東郷町は、平和の誓いを新たにし、ここに、恒久平和の実現に努力する「平和都市」であることを宣言します。

令和元年６月２４日　東郷町

Peace Town Declaration of Togo Town

An eternal world peace is the hope that we human being have in common.

Not a few people in the world, however, are still threatened of their precious life or peaceful daily living at this very moment, because of wars, armed conflicts, terrorist acts, and possessions of nuclear weapons.

As the only nation in the world to have experienced nuclear weapons, we are obliged to convey the importance of peace to the next generation, who creates our future, so that we will never ever repeat our tragic history of the wars.

Today, when the Japanese imperial era is changing from Showa to Heisei, then now to Reiwa, we, as the town of Togo, will renew our commitment for peace, strengthen our determination to strive for the eternal world peace, and hereby declare ourselves as being a "Peace Town."

June 24, 2019 (Reiwa 1), Togo Town

表する。子どもたちが戦争を経験せず人生を全うできるならば、宣言した価値がある。

（門原武志　議員）

町章は「と」を図案化し、町民が相互に助け合い、豊かな緑の中に平和と発展を願う思いがにこめられて半世紀、機は熟し、新時代に「平和都市宣言」が定められ、次代を担う子供たちに平和に関する教育の充実に期待をします。

（加藤達雄　議員）

この平和都市宣言を通じて、〝平和〟というものの意味や意義をしっかり再認識すると共に、この宣言をゴールとするのではなく、平和というものの真理についてみんなで考える為の、大きな機会として捉えて欲しい。

（山下茂　議員）

令和元年度　一般会計補正予算　可決

今回の補正予算は、プレミアム付商品券発行事業、幼児教育・保育無償化導入支援事業補助や給食センターへのエアコン設置などの予算が盛り込まれたもので、全員賛成で可決されました。

その他、全11議案が審議され、全議案とも可決されました。

こんな質疑がありました。

【総務経済委員会】

（下水道条例一部改正について）

Q 今回の改正対象となる80㎡を使用する世帯では、使用料はいくらになるのか。

A 今までは1万200円だったところ1万800円となり、600円の増額となる。

（一般会計から移住支援事業について）

Q 商工費に計上された「移住支援事業」は、具体的にはどのような支援になるのか。

A 地域の中小企業における人手不足解消策として国が示したもの。具体的な要件はいろいろあるが、東京圏から地方への移住される方を対象に支援金として支給するもの。

【文教民生委員会】

（一般会計からプレミアム付商品券事業について）

Q 差額分のみを配布するなど町独自の実施についての考えは。

A 国の事業の実施要項に基づき実施するため、町独自は考えていない。

Q 取扱店舗はどのように決めているのか。

A 商工会を通じて協力をしていただくなど、前回の地域振興券などの実績を参考として考えている。

（一般会計から給食センター空調関連について）

Q 下処理室への設置とのことだが、今回の設置の考え方は。

A 調理場全体には学校施設長寿命化計画による大規模改修と合わせて考えていくことになるが、昨年の暑さを考えると、従来のスポットクーラーによる部分的な対応ではなく、退避できるような場所を検討する中で下処理室が適当であると判断した。

Q 利用可能時期は。

A 補正が通れば6月末からでもやりたいと考えている。

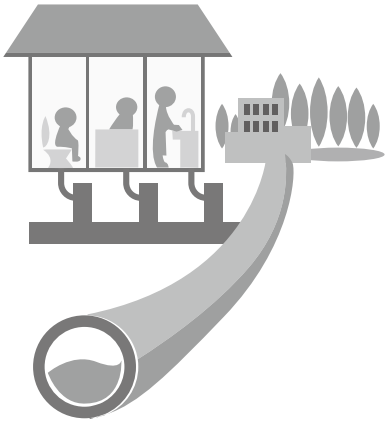
東郷町下水道条例の一部改正について

（賛成多数で可決）

反対討論

大量に使う利用者が対象の従量使用料の値上げは評価できるが、消費税の10％への増税による値上げは全利用者が対象。物価高騰や消費増税の影響を公費負担とし保護者の負担増をしなかった学校給食費と同様にすべきだ。

（門原武志　議員）



議案審議の結果一覧

6月定例会

立…立憲民主党　公…公明党 共…日本共産党東郷町議員団　無…無所属	会派	新東会				公	立	共	無	無	無	無	無	無	無	無	無
議案名 議長　水川淳は採決に加わらない ○…賛成　×…反対　欠…欠席 太字…討論があった議案名	審議結果	石橋直季	加藤達雄	加藤宏明	近藤鑛治	高木佳子	國府田さとみ	門原武志	比嘉浩二	中野まさひろ	山下茂	熊田彰夫	山田達郎	水川淳	加藤啓二	若園ひでこ	菱川和英
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町森林環境譲与税基金条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町行政不服審査法施行条例及び東郷町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町下水道条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○
東郷町平和都市宣言について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
令和元年度東郷町一般会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
令和元年度東郷町介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○
令和元年度東郷町下水道事業会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○

不断の改革を続ける議会の実現へ!

東郷町議会基本条例を制定しました

3月23日、全会一致で可決

3年近くにわたり慎重に検討

東郷町議会は平成31年3月23日に議会基本条例を全会一致で可決し、同日から施行しました。

議会基本条例は、町議会がこれまで進めてきた取り組みを今後も続けることを明記したものです。3年近くにわたり検討を重ね、昨年11月の議会報告会での説明と、10月から11月にかけてのパブリックコメントを経て、条文を決めました。ポイントを紹介します。

ポイント1 議会と町民との約束

議会が町民の皆さんに約束することを書いた条例です。

「約束違反」があるときに、議会を正すための道具としてご活用ください。

ポイント2 これまでの取り組みを明文化

議会だよりの発行や議会の録画配信などこれまで取り組んできたことを明記しました。

録画配信

議会だより

ポイント3 説明責任と不断の見直し

議員の定数や報酬を見直す場合などの議会の説明責任と、議会基本条例の内容等の見直しを絶えず行うことを明記しました。

東郷町議会基本条例の目次

前文
第1章　総則（第1条）
第2章　町民との約束（第2条―第5条）
第3章　議会の責務及び活動原則（第6条―第11条）
第4章　議員の責務及び活動原則（第12条―第14条）
第5章　議会と町長等との関係（第15条―第19条）
第6章　議会の機能強化（第20条―第24条）
第7章　議員の政治倫理（第25条）
第8章　議員の定数（第26条）
第9章　議員の報酬（第27条）
第10章　最高規範性及び条例の見直し
（第28条・第29条）

議会基本条例の全条文と逐条解説は、議会ウェブページでご覧いただけます。

パブリックコメントで寄せられた意見を取り入れました

町が「総合計画」（計画的な行政運営のための基本構想）を制定するときには、議会の賛同を要することを明記しました。

レポート

総務経済委員会

6月14日（金）町内研修

総務経済副委員長　國府田　さとみ

「東郷町商工会にて」

5月22日に行われた総代会の資料をもとに、商工会の現状等をご説明いただきました。

商工会活性化の為の本年度の重点事項は…

- **会員増強の推進および退会防止の実施**
- **経営支援、金融支援の充実**
- **共済制度への加入促進**
- **財務基盤の強化促進**

特に、商工会の健全な運営の為に欠かせない会員の確保については、県からの補助金に必要な組織率1/2を確保する事が切実な課題となっており、今後は、ららぽーとに参入する企業の加入を積極的に行っていきたいとの事でした。商工会誌「de TOGO」創刊号の紹介があり、“魅力ある街東郷町de暮らす人の情報誌”としてオシャレなイメージのすてきな冊子の仕上がりで、こうした発信がもたらす街のイメージアップに期待が高まりました。また、委員から、商工会が町内に設置している防犯灯としての役割も大きい水銀街路灯の維持管理に関する質問があり、情報交換もされました。

「シルバー人材センターの活力」

地域を支える大切なマンパワーとしてのシルバー人材センター。現状の聴き取りを行いました。“働く喜び・深める絆　生涯現役で地域社会に貢献しよう”のスローガンの下に運営されています。地域の活力としてさらに期待が持たれます。

「セントラル開発の今」

国道153号線から、ららぽーとへのアクセス道路となる和合ケ丘新池線の道路の改良。右折レーンの設置と歩道を拡張してスムーズな交通を促すものです。

ららぽーとへの最終アクセスポイントとなるギロウ橋を新しく付け替える工事をしています。

7月1日（月）県外研修

総務経済委員長　山田　達郎

「産官学連携の現場から～岐阜大学内/岐阜県食品科学研究所」

本年４月に、全国で初めて公設試験研究機関を国立大学法人内に設置し、県の施設と大学の研究室が同じ建物内に共存し学生が多く研究している施設。

酒造設備にて大学でお酒を造ったり、酒造の指導や相談にのるなど、菌の開発から販売まで行っており、また幅広い食品のデータ解析から最新の機械などを見学してきました。全国初の新しい取り組みで岐阜県の職員と大学の知識にて活動しており、岐阜県内だけではなく県外まで幅広く中小企業が投資出来ない高額の機材や研究室を貸し出ししています。企業が依頼して県と大学が調査や研究している事に驚きました。民間ではありえない低価格であり、事業者にとって非常に心強く、これこそ行政が中小企業への応援、サポートだと感じました。この施設は東郷町内事業者もウェルカムであるので、町内事業者へ周知展開していきたいと思います。

デジタル顕微鏡

以前までは研究室の半分くらいの巨大な機械が今では卓上サイズまでに進歩し、真空も低真空であり食品まで対応できる。

委員会

文教民生委員会

6月17日（月）町内研修　　文教民生委員長　石橋　直季

「全小中学校にエアコン設置」

本年６月に設置されたエアコン

本年６月、町内全小中学校の普通教室にエアコンが設置されました。委員会では今回、諸輪小学校の状況を視察させていただきました。各教室にエアコンが１基ずつ設置され、28℃を基準として使用が始まっており、適切な学習環境へ一歩前進したと感じます。

教員の方からのお話では、実際に運転させてみると場所により温度差が生じるため、扇風機を併用して循環させる、上着の持参も場合により求める、といった試行錯誤があるようです。また、小学校の音楽室など特別教室にはいまだエアコンが設置されておらず、例えば音楽の授業で、合唱などエネルギーを使う活動には過酷な環境が残されており、重要課題です。

「学校トイレ洋式化の現状」

また、本町では順次、学校トイレの洋式化を進めています。視察した諸輪小学校では新旧のトイレが併存していて、いまだ洋式化されていない箇所があり、見比べてみればその差は歴然です。

2018 年に策定された学校施設長寿命化計画に基づきつつも、どうすれば子どもたちの学習環境をさらに早期に整えていけるか、議会としても引き続き取り組んでいく必要性を再認識しました。

2017 年に洋式化されたトイレ

「ひなたユニゾン」と「東郷町南部地域包括支援センター」

ひなたユニゾンでの研修風景

今回の委員会研修では他に、社会福祉法人東郷ひなたが本年４月に開所された「ひなたユニゾン」、愛厚ホーム東郷苑の敷地内に本年４月から設置された「東郷町南部地域包括支援センター東郷苑」も視察させていただき、非常に丁寧なご説明をいただきました。本町の福祉増進に寄与する両事業についても、学びの多い研修となりました。

北部	諸輪 和合 和合ケ丘 諸輪住宅 白鳥 御岳 押草団地南 押草団地北 北山台
南部	傍示本 祐福寺 部田 白土 春木台 西白土 部田山 清水

東郷町に２つある
地域包括支援センターの担当地区

みなさまのご意見大募集!!

議会の果たすべき役割を十分に踏まえ、住民のためにある議会であるよう努めてまいります。

●議会に質問
（特に子どもからの質問大歓迎）

●議会にもの申す！
（議会へのご意見・ご要望）

●傍聴リポート
（議場のお気づきをお聞かせください）

など、ご意見・ご質問をお寄せください。

【宛先】東郷町議会 広報広聴委員会
〒470-0198
愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴１番地
TEL.0561-56-0754

９月定例会の日程（予定）

8月15日(木)	請願・陳情受付
29日(木)	午後3時まで
9月5日(木)	本会議（開会）
6日(金)	本会議（一般質問）
9日(月)	本会議（一般質問）
11日(水)	（一般質問・議案質疑）
12日(木)	決算特別委員会
17日(火)	決算特別委員会
18日(水)	総務経済委員会
26日(木)	文教民生委員会
	本会議（閉会）

本会議は10時開始、各委員会は9時開始です。ぜひ、傍聴にお越しください。

ネットで議会

QRコードリーダーで読み取ってご覧ください

議会ウェブページ

録画映像配信

表紙の写真

「まちの熱い人々」

今回から“まちの熱い人々”をシリーズテーマに取り上げて参ります。

初回は東郷の夏に欠かせない「東郷音頭保存会」を取り上げました。

日々、伝統を次世代に繋ぐために、子ども達にも熱くご指導されています。

編集後記

改選後という事もあり、ほんの少し前までは一町民であった議員ニューフェースを迎えての委員会構成となっています。本号の編集会議では、「過去の議会だよりのこんな所が読みづらかった」から始まり、「自分だったらこんな記事が読みたい」「議会のこんな事が知りたい」といったフレッシュな町民目線の意見が飛び交いました。紙面を埋めるコンテンツへの新しいアイディアを含めて、まだまだ試行錯誤の最中ですが、そんなメンバーの感覚を活かし、今後も改善を進めていければと思っています。町民の皆さんがこの議会だよりを手にした時に、良い変化を感じていただけるよう、編集に臨んでいくつもりです。

（広報広聴委員長　國府田　さとみ）

広報広聴委員会

委員長　國府田　さとみ
副委員長　石橋　直季
高木　佳子
中野　まさひろ
山下　茂
加藤　達雄
水川　淳
門原　武志